

健康経営の取り組み

「健康経営」とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することです。

従業員への健康投資を行うことは、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらし、結果的に業績向上や株価向上につながると期待されます。

健康経営は、日本再興戦略、未来投資戦略に位置づけられた「国民の健康寿命の延伸」に関する取り組みの一つです。

※健康経営は、NPO 法人健康経営研究会の登録商標です。(経産省 HP より)

健康経営優良法人認定 2025 に認定



◎健康経営への取り組みについて

不健康や疾病による生産性低下の防止という経営課題の解決のために以下のことを取り組んでおります。

《取り組み内容》

- ・定期健康診断の実施
- ・健康に関するチラシを毎月配布
- ・健康に関するセミナー参加・実施
- ・エンゲージメント定期調査の実施
- ・健康習慣アンケートの実施
- ・食事・栄養管理支援アプリの導入
- ・運動機会増進アプリの導入

【組織図】



《今後の課題と具体的な取り組みについて》

〈従業員の生活習慣における行動傾向 <2023 年～2025 年の経年比較〉

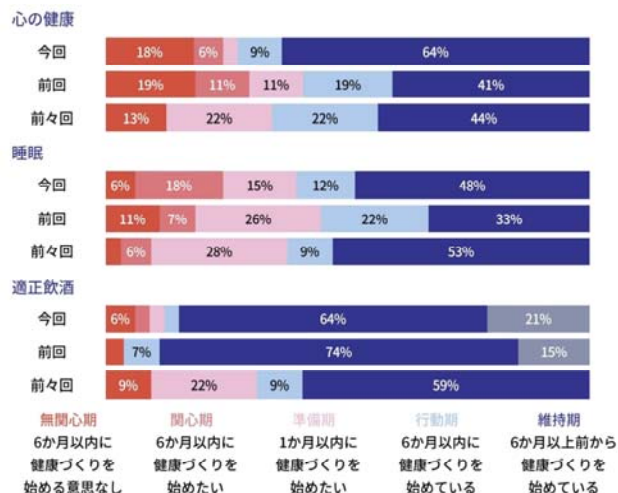
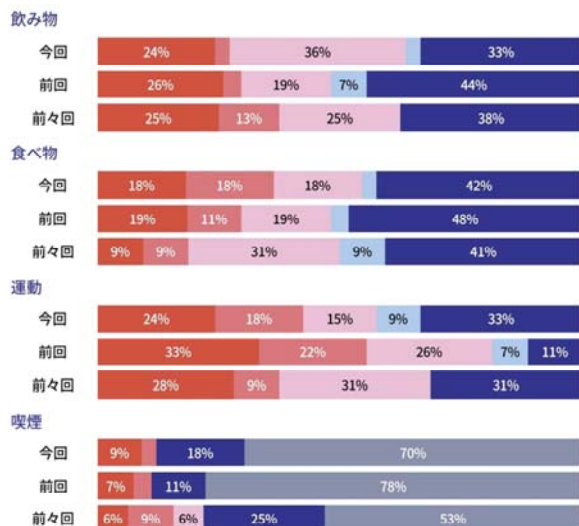
自社の具体的な健康課題把握のため、年に 1 度社員への健康習慣アンケートを実施しています。

<当社社従業員にみられる健康課題>

- ・**飲み物**ならびに**運動**に関して健康づくりを始め

ている社員割合が少なく、将来の生活習慣病リスクにつながる恐れがある。

- ・仕事と治療の両立支援についての支援が必要



*「喫煙」「適正飲酒」の非該当は、グレーで表示。

喫煙の非該当は「吸ったことがない」を選択した回答者、適正飲酒の非該当は「もともと飲まない（飲めない）」を選択した回答者

職場・組織の活性化

「そうだ」=4点、「まあそうだ」=3点、「やや違う」=2点、「違う」=1点とした平均値

・生活習慣における行動変容への具体的なサポートを実践することによって、職場や組織の活性化に結び付けることが課題である。



健康関連指標の変化と目標値

・社員の主体的な健康づくりの促進や環境づくりを通じて、健康で活力あふれる社員が育まれることで、社員一人ひとりがパフォーマンスを最大限発揮できるよう、以下の重点指標の改善に取り組んでいます。

健康関連指標	2023年	2024年	2025年	目標値 (2027年)
アブセンティーズム (健康による平均欠勤日数)	4日	4.8日	2.3日	1.5日以下
プレゼンティーズム (東京大学1問方式による生産性低下率)	30%	29%	25%	16%以下
ワーク・エンゲイジメント (新職業性ストレスチェックのワーク・エンゲイジメントに関する設問(2項目)によるスコア)	2.4	2.4	2.7	3.0

健康課題の改善に向けて

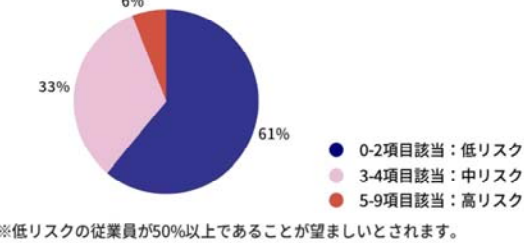
社員の意識や行動、生活習慣の変化は、社員のパフォーマンス向上の指標としているアブセンティーズム・プレゼンティーズム・ワークエンゲイジメントの3つの指標とも結びついております。

プレゼンティーズムについては、相関性の高い因子を9つに区分し、該当個数に応じて社員を3つのリスク区分に分類したうえで分析を行っており、健康リスクの高い社員割合の改善によって、社員のパフォーマンスの向上を実現させたいと考えております。

(図表1)

	健康リスクの評価項目	従業員の リスク該当率の割合
生活習慣 リスク	①喫煙習慣あり	12%
	②過度な飲酒習慣あり	3%
	③運動習慣なし	79%
	④睡眠が不十分	45%
心理的 リスク	⑤不定愁訴あり	9%
	⑥主観的健康感が悪い	9%
	⑦高ストレス	24%
	⑧仕事満足度が低い	33%
	⑨家庭満足度が低い	3%

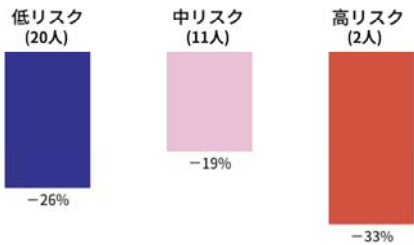
(図表2)



各リスクレベルのプレゼンティーズムの
平均値を比較します。

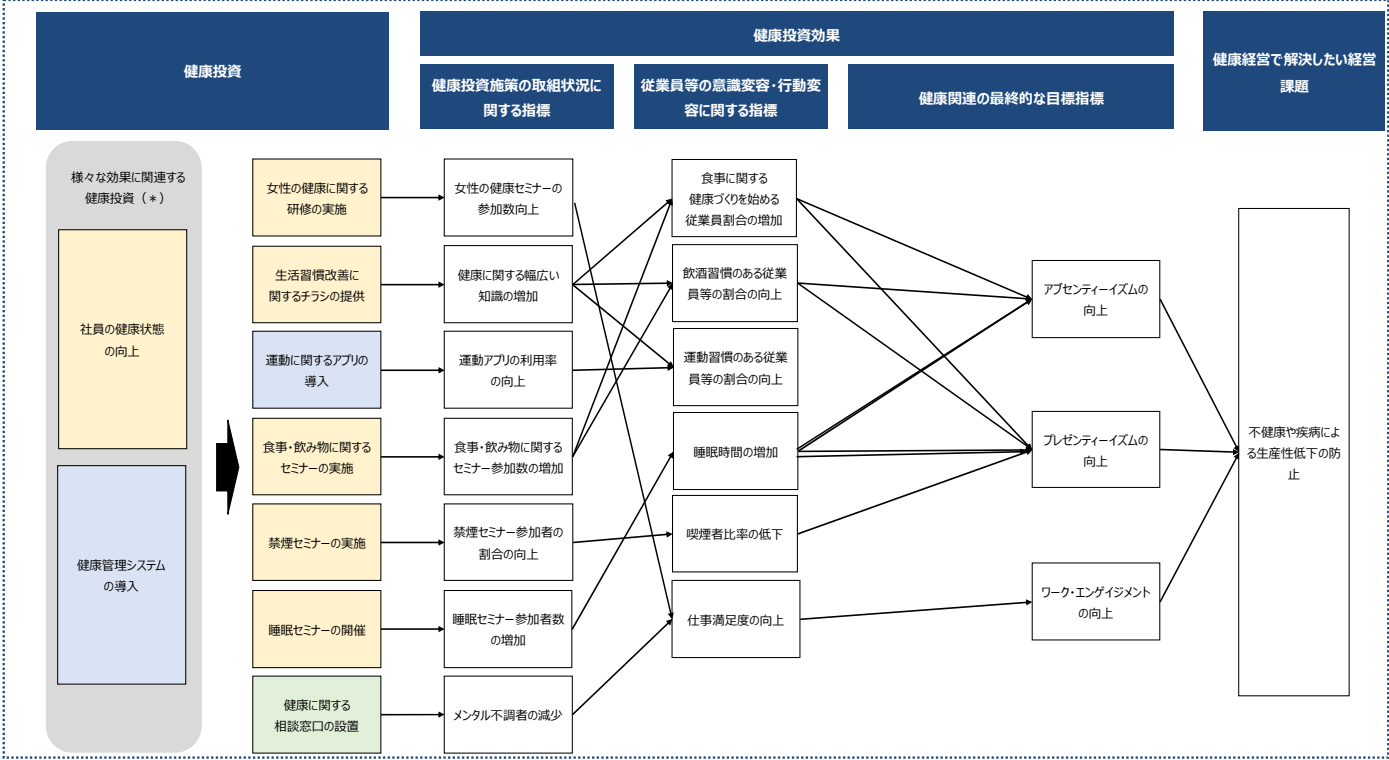
(図表3)

労働生産性の低下率
プレゼンティーズムの平均値 (%)



*上記は、東京大学
古井・村松・井出「中小企業における労働生産性の損失とその影響要因」日本労働研究雑誌
平成30年6月号と同じ手法により算出しています。

【戦略マップ】



【取材】

Voice Report

健康経営優良法人認定企業インタビュー

広島県 福山営業所

大和建設株式会社

「和」～社員の健康は会社の健康～

代表取締役社長 三谷 道明氏

本社所在地 広島県福山市若松町8-4

主な事業内容 土木建築工事業

従業員数 54名

社員の健康は会社の健康

弊社は1958年に創業し、今年で64周年を迎えます。私たちが考える建設業の目的は、人々が安心して快適に暮らせる社会の実現です。そのためには、一緒に働く社員は財産です。社員の体の健康は会社の健康にも繋がります。そのためにも、健康経営の取り組みを始めました。

健康への意識向上のために

社員の高齢化、社員の体調不良者の増加などでより健康について気を付けるようになっていました。現場での仕事であり、社員の安全には十分配慮する必要があります。そのため、社員一人一人には健康意識を高めてもらうための取り組みを行っています。具体的な活動としては、定期的な健康セミナーの開催や掲示板に健康情報の掲載を行い、啓蒙活動を行っています。健康に関する情報を知ることによって健康づくりのきっかけになればと考えております。

社内の外観

社内に設置した血圧測定器

アクサ生命保険(株)より取材を受けました

大和建設株式会社

「和」～社員の健康は会社の健康～

主な事業内容：土木建築設計・施工・請負業・不動産業
 所在地：福山市若松町8-4
 TEL：(084)924-4411
 従業員数：49名



代表取締役 三谷 道昭 氏



会社外観

社員の健康は会社の健康

昭和33年に創業し、今年で64周年を迎える当社は、建設業者として「人々が快適に安心して暮らせる社会の実現」を目指しています。その実現のために働く社員は「財産」です。社員の健康は会社の健康にも繋がります。社員が心身共に健康で、長く働ける環境づくりが必要と思い、健康経営の取り組みを始めました。

健康への意識向上のために

工事現場では、社員の安全に十分配慮する必要があります。社員の高齢化に伴い、社員の健康にも目を配っていますが、社員一人ひとりに健康意識を高め、定期的に健康セミナーの開催や、掲示板に健康情報を掲載するなどの啓蒙活動を行っています。



休憩室に運動器具を設置

また、コロナ禍で運動する機会が減ったこともあり、休憩室に運動器具を設置し、社員に利用してもらっています。

社長の想い

当社は建設への「志」を持ち、お客さまの役に立つものを造り、ご満足をいただくことを第一に考えています。同じ志を持った社員には、「人としての魅力」を備えた人間性豊かな人に成長してほしい、そして、より素晴らしい人生を送ってほしいと願っています。健康経営の取り組みが、少しでもその後押しになればと考えています。

アクサ生命保険(株)より取材を受けました